

# 景気サイクルからみるグローバル・フランチाइズの魅力

下記は、モルガン・スタンレー・グローバル・フランチाइズ・コンポジット\*(以下、グローバル・フランチाइズ)のパフォーマンスを使用しています。グローバル・フランチाइズは、「モルガン・スタンレー グローバル・プレミアム株式オープン マザーファンド(以下、マザーファンド)」の運用指図権限の委託先であるモルガン・スタンレー・インベストメント・マネジメント・リミテッドによって運用され、当ファンドが投資するマザーファンドと同様の運用プロセスを用いておりますが、当ファンドの運用実績とは異なります。また、当ファンドの将来の運用状況・成果を示唆・保証するものではありません。なお、運用報酬控除前、米ドルベース、配当および収益再投資のパフォーマンスです。グローバル・フランチाइズの運用開始日は1996年3月31日。\*コンポジットとは、運用のパフォーマンス測定のため、類似の投資目的、投資戦略に基づき運用される複数のファンドをまとめたものをいいます。

以下のパフォーマンス実績は当ファンドのものではありません。ご参考としてご覧ください。

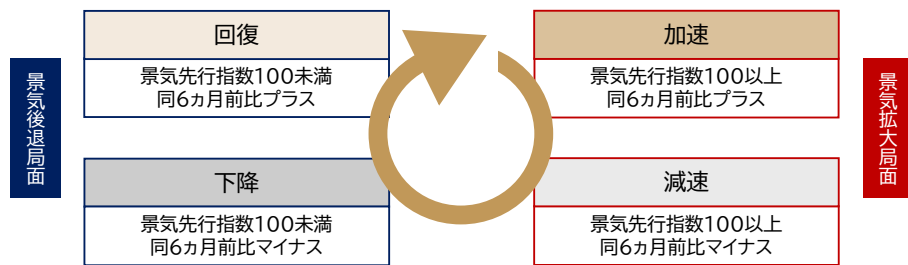
## 景気サイクルの推移

### 景気サイクルの見かた

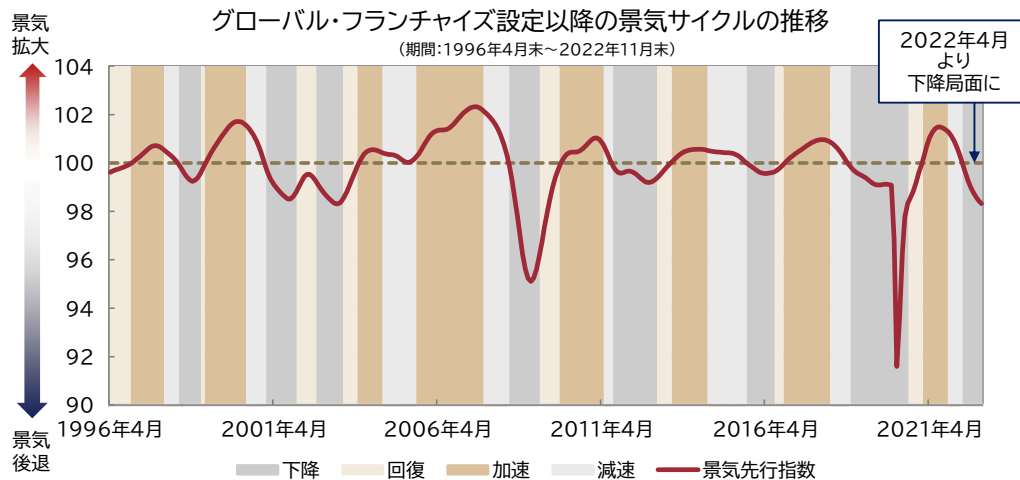
世界の景気サイクルを表す指数として、経済協力開発機構(OECD)が算出している景気先行指数が広く用いられています。この指数は、主要国の国内総生産(GDP)に連動しやすい経済指標から算出されており、景気循環の転換点の兆候を早期に捉えるためのものとなっているため、世界経済の先行性を考える上で、注目される指数となっています。指数が100を上回ると景気拡大局面、下回ると景気後退局面にあるとされています。

### 景気サイクルの4つの局面

景気先行指数は、100が景気判断の境目となっていますが、さらに4つの局面に分類されます。グローバル・フランチाइズ設定以降の景気サイクルの推移を表したのが下記のグラフです。



\*上記はイメージで、全てを網羅したものではありません。(出所)各種資料、モルガン・スタンレー・インベストメント・マネジメントのデータを基に三菱UFJ国際投信作成



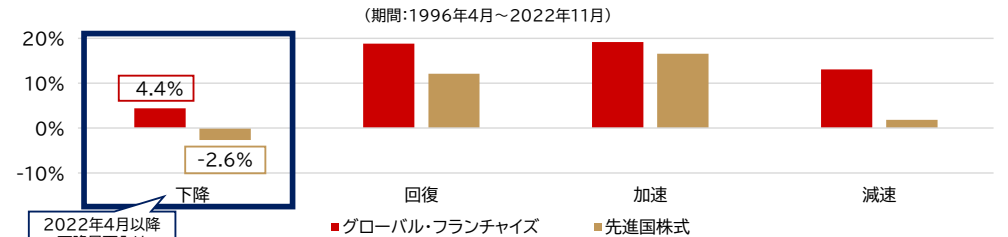
(出所)Bloomberg、モルガン・スタンレー・インベストメント・マネジメントのデータを基に三菱UFJ国際投信作成

## グローバル・フランチाइズのパフォーマンス

### 景気局面別のパフォーマンス

グローバル・フランチाइズは、設定以来どの景気局面でも先進国株式を上回るパフォーマンスを達成しました。特に、下降局面において、先進国株式がマイナスのパフォーマンスとなる中、年率4.4%という結果となりました。OECDの景気先行指数からみると、2022年4月より景気サイクルは下降局面に入ったとみられます。そのため、下降局面、次の回復局面に強いアセットクラスへの投資が重要だと考えられます。また、景気後退局面だけでなく、景気拡大の加速・減速局面でも先進国株式を上回っており、景気局面に関係なく、長期投資のコアファンドとなり得ると考えられます。

#### 景気局面別パフォーマンス比較



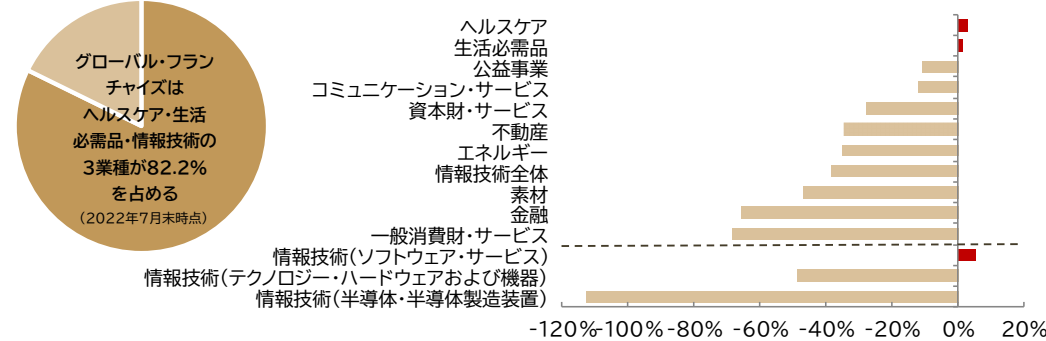
(出所)Bloomberg、モルガン・スタンレー・インベストメント・マネジメントのデータを基に三菱UFJ国際投信作成

### 景気後退局面における強さの理由

グローバル・フランチाइズは、景気動向に左右されにくい業種に属する銘柄を多く保有することで、景気後退局面でも相対的に底堅いパフォーマンスで推移してきました。具体的に、景気後退局面の一例として、リーマン・ショック時における各業種の予想EPSの成長率をみると、ほとんどの業種がマイナスとなる中、ヘルスケアや生活必需品、情報技術(ソフトウェア・サービス)の成長率はプラスに留まりました。

#### 先進国株式における業種別の予想EPS(1株当たり利益)成長率

\*下記は2007年10月末と2009年2月末の予想EPSを比較したものです。



\*業種はGICS(世界産業分類基準)のセクター分類に基づいています。GICS(世界産業分類基準):Global Industry Classification Standard("GICS")は、MSCI Inc.とS&P(Standard & Poor's)が開発した業種分類です。GICSに関する知的財産所有権はMSCI Inc.およびS&Pに帰属します。

(出所)Bloomberg、モルガン・スタンレー・インベストメント・マネジメントのデータを基に三菱UFJ国際投信作成

※本資料は「モルガン・スタンレー グローバル・プレミアム株式オープン(為替ヘッジあり) / (為替ヘッジなし) / (為替ヘッジあり) 予想分配金提示型 / (為替ヘッジなし) 予想分配金提示型」を投資家のみさまにご理解いただくために作成したものです。このため、ファンドの商品性、リスク、ファンドの費用などについては投資信託説明書(交付目録見書)をご確認いただく必要があります。「モルガン・スタンレー グローバル・プレミアム株式オープン(為替ヘッジあり)」を「(為替ヘッジあり)」,「モルガン・スタンレー グローバル・プレミアム株式オープン(為替ヘッジなし)」を「(為替ヘッジなし)」,「モルガン・スタンレー グローバル・プレミアム株式オープン(為替ヘッジあり) 予想分配金提示型」を「(為替ヘッジあり) 予想分配金提示型」,「モルガン・スタンレー グローバル・プレミアム株式オープン(為替ヘッジなし) 予想分配金提示型」を「(為替ヘッジなし) 予想分配金提示型」,ならびにこれらを総称して「当ファンド」ということがあります。【本資料に関するご注意事項等】の内容を必ずご覧ください。

本資料では、市況推移の参考として先進国株式(MSCI ワールド インデックス(税引後配当込み米ドルベース))を使用しています。なお、同指数は、グローバル・フランチाइズおよび当ファンドのベンチマークではありません。同指数に対する著作権およびその他知的財産権はすべてMSCI Inc.に帰属します。計測期間が異なる場合は、結果も異なる点にご注意ください。景気局面別のパフォーマンスは各景気局面での月次騰落率を年率換算したものです。上記は、過去の実績・状況または作成時点での見通し・分析であり、将来の市場環境の変動や運用状況・成果を示唆・保証するものではありません。また、税金・手数料等を考慮していません。

